

がん検診のメリット・デメリット

メリット

1. 早期発見・早期治療による救命
2. 早期がんが発見できる
3. がんの前段階の病変(ポリープ、異型上皮など)が発見されることもある

デメリット

1. がんがあるのにも関わらず、正しく診断されないことがある
(精度が 100%ではない)【偽陰性】
2. がんがないのに、がんがあるかもしれない(要精密検査)と診断されることがある【偽陽性】
3. がんの中には、がんが進展して死亡に至る経路をとらないものもあるが、そのがんに対して過剰な検査や治療をしてしまい、
身体的・心理的・経済的におおきな負担を強いることがある【過剰診断】

デメリットを避けるためには

1. 適切な受診間隔でがん検診を受ける
2. なんでも相談できるかかりつけ医をもつ
3. 気になる症状があれば医療機関に受診する

気になる症状(注意した方がよい症状)

- ・胃の具合が悪い、食欲がない
- ・おりものや不正出血がある
- ・乳房のなかにしこりがある、乳房にくぼみがある、乳頭から出血する
- ・飲みこみ時につかえる感じがある
- ・便に血や粘膜が混じっている
- ・咳が続いたり、痰に血が混じる
- ・声がかすれる
- ・尿の出が悪かったり、血が混じる
- ・その他 体重減少、貧血 など…

※このように気になる症状がある場合は、検診を待たず、すぐ医療機関を受診しましょう。